

県立松戸向陽高等学校 福祉教育拠点校の挑戦

校訓 向学・自立・共生



学校全体で福祉教育を推進 **福祉マインドを育てます**

1年次 「社会福祉基礎」

生徒全員が福祉の科目「社会福祉基礎」を学び、福祉の基礎・基本を身につけます。多くの生徒が、福祉について興味を示しています。



普通科

共生を目指して

家庭科の授業で、いまの自分を見つめさせるとともに、将来の親の在り方について考えさせます。いろいろな教科で、福祉に関する内容を取り上げること検討しています。



2年次 「家庭総合」

3年次 福祉コース

福祉の専門科目10単位を履修します。
介護職員初任者研修修了の資格を取得できます。

3年次 普通コース

家庭科「ライフプランニング」授業で、さらに共生の心を育てます。

ボランティア活動の充実

普通科、福祉教養科問わず、高齢者や障害のある児童との交流活動を行うなど、ボランティア活動が盛んです。



キャリア教育の充実

各学期に進路ガイダンスを実施するとともに、外部講師を招き、「福祉」や「経済」をテーマに講演会を行います。

魅力ある行事の実施

絵本の読み聞かせ講習会など、魅力ある行事を企画し、実施します。



福祉教養科



福祉のスペシャリストの育成

福祉マインドを身につけさせることはもちろんのこと、福祉に対する意欲を維持させながら、外部施設での介護実習（3年間で60日以上）に臨ませます。
介護福祉士国家試験に合格させ、将来の福祉のスペシャリストを育て、輩出します。

大学・専門学校との連携

専門学校や大学から講師を招き、「美容福祉」、「福祉の中の保育の役割」等をテーマにした特別授業を行います。



福祉教育拠点校の役割 県全体の福祉教育を推進します

他県との連携

学校を訪問し合ったり、研究会を開催したりするなど、他県の福祉関連高校と情報交換する機会を設けることにより、千葉県、そして全国の福祉教育の発展に努めます。

広報誌の作成

千葉県福祉・人材確保対策事業の一つとして、福祉教育部会で提案し、予算化されました。県内の公立中学校をはじめ、関係機関に送付しました。



指導力の向上

県内の福祉関連高等学校教職員が研修する場を設定することにより、県内福祉科教員全体の指導力の向上を図ります。



生徒の交流

福祉関連高等学校生徒が集まり、福祉についての意見を語り合う交流の場を設定します。生徒たちには、よい刺激となります。



地域とともに歩む学校を目指して

地域の方に、福祉について理解していただく場(県立学校開放講座)を設定します。本校職員が講師、生徒がアシスタントを務め、地域の親子に、福祉についての興味を深めてもらいます。

